

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|---------------|-----|-----------------|
| ○事業所名 | こどもプラス丹波島教室 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025年 11月 1日 | | ～ 2025年 12月 25日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 32名 | (回答者数) 25名 |
| ○従業者評価実施期間 | 2025年 11月 10日 | | ～ 2025年 12月 25日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 7名 | (回答者数) 4名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 1月 13日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|---|
| 1 | 運動療育とSST、個別トレーニングを組み合わせた支援を提供することで、こどもの可能性を最大限に伸ばす事ができること。 | 保護者から聞いたお子様の困り感を、すぐに支援内容に取り入れていくように心掛けている。 | 子どもの特性や成長を見ながら、その時に必要な支援を職員全員で考え行っていく。 |
| 2 | 支援方法を統一することで、こどもが落ち着いて過ごせる場所になっている。 | ミーティング等で、こどもの様子や対応の確認を行い、職員間の連携を図る事で支援方法にずれが起こらないよう配慮している。 | 第三者の意見も広く受け入れ、こども達の成長に必要な支援を柔軟に取り入れていく。 |
| 3 | こどもが活動を楽しみにして自発的に教室に来ることができている。 | 活動内容については、職員全員で話し合い、こどもが楽しみながら取り組み目づ固定化しないよう配慮して支援を行うようにしている。 | 身体、精神面の成長に合わせた活動を適宜行っていく。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|-----------------------------------|--|
| 1 | 医療的ケアが必要なお子さんの受け入れが難しいこと。 | 様々な面から、医療的ケアに必要な人材を配置することができないため。 | 外部のサービスを取り入れた支援方法を模索していく。 |
| 2 | 保護者会等の開催がないため、保護者同士の交流の場がなく知りたい学校の情報を聞くことができない。 | 今まで要望がなく、必要性を感じていなかったため実施に至らなかった。 | イベントで療育の参観日を行い、そのあとに保護者同士が交流できる場を設定する。 |
| 3 | 放課後児童クラブや児童館と活動する機会がない。 | 地域のお子さんたちと交流する場がないこと。 | 地域のお子さんたちと楽しく遊びながら交流が深まるイベントを計画する。 |